

北斗市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

北斗市は、面積397.44km²、人口44,302人(令和2年国勢調査)で、北海道の南端部に位置している。北斗市と函館市の結びつきは、経済面・生活面で強く、通勤・通学・通院等を目的とし、北斗市と函館市間の移動ニーズは高い。

広域幹線(地域幹線系統)としての道南いさりび鉄道・JR北海道・函館バス(上磯線、大野線、郊外路線)を有効活用し、北斗市から函館方面への公共交通のアクセスの強化を図ることで、公共交通の持続性を確保しなければならない。

既存の公共交通で補完できない一定程度の人口が集中するも、広域幹線(地域幹線系統)・市内幹線(フィーダー系統)では補完できないエリアについて、買い物や通院といった日常生活に必要な移動を捉えた効率的な運行が可能な巡回ワゴンを導入し、新たなフィーダー系統としての運行を確保・維持することで、住民の生活交通手段を存続させていく取組を進めているところである。

生活交通確保維持改善計画の目標

- 市民の移動手段となる公共交通の利便性・効率性の向上を図り、まちづくりと一体となった持続可能な地域公共交通ネットワークを再構築する。
- 市・交通事業者等の関係者が連携し、地域特性に応じた多様な交通サービスを展開することにより、限られた資源の中でも持続可能な地域公共交通への見直しを目指す。

<具体の目標値>

- ・幹線補完旅客運送サービスの収支率 20%

令和5年度事業概要

○巡回ワゴン

運行系統名:①茂辺地・石別・上磯線、②上磯線、③大野線

運行区間:①三ツ石～上磯駅、②三好会館～上磯駅前商店街、③新函館北斗駅～総合分庁舎前～新函館北斗駅

運行回数:①96回、②96回、③396回 運行曜日:①月曜・木曜、②月曜・木曜、③火曜・金曜

運賃:300円(①三ツ石～茂辺地大橋間での乗降については200円)

地域公共交通の現況

- ・道南いさりび鉄道(七重浜駅、東久根別駅、久根別駅、清川口駅、上磯駅、茂辺地駅、渡島当別駅)
- ・JR北海道(新函館北斗駅)
- ・タクシー(1社)
- ・函館バス株式会社(新函館北斗駅・上磯線、大野線、七飯線、上磯線、函館・江差線、大沼公園・鹿部線、函館・瀬棚線、小谷石線、函館・松前線)
- ・その他バス(新函館北斗駅～大沼公園ポロト館前、札幌行き、スクールバス、送迎バス)

協議会開催状況

- 令和5年3月27日
 - ・ワーキンググループを開催し、巡回ワゴン運行状況等について協議
- 令和5年5月16日
 - ・ワーキンググループを開催し、巡回ワゴン運行見直し案等について協議
- 令和5年5月23日(第14回)
 - ・巡回ワゴン運行見直し案等について協議
- 令和5年6月21日(第15回)
 - ・地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請について承認
- 令和6年1月17日(第16回)
 - ・事業評価について書面協議

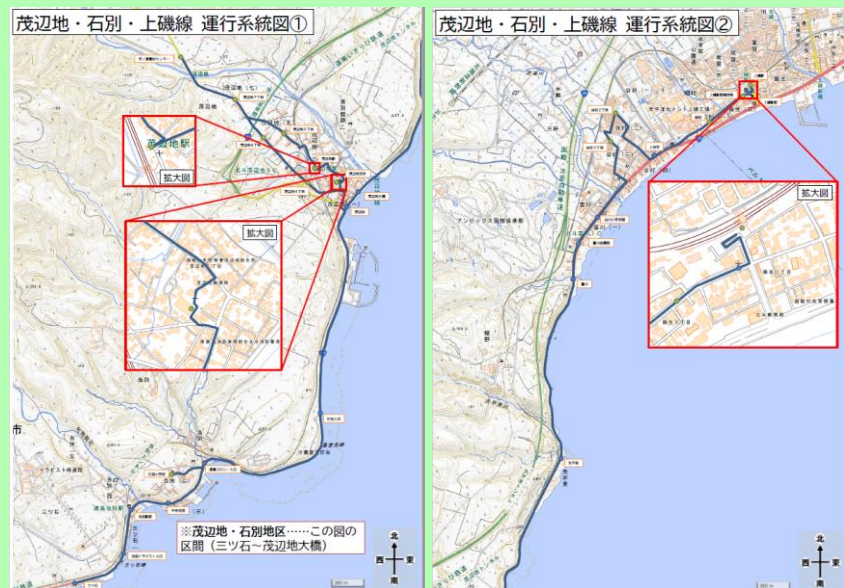
令和5年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

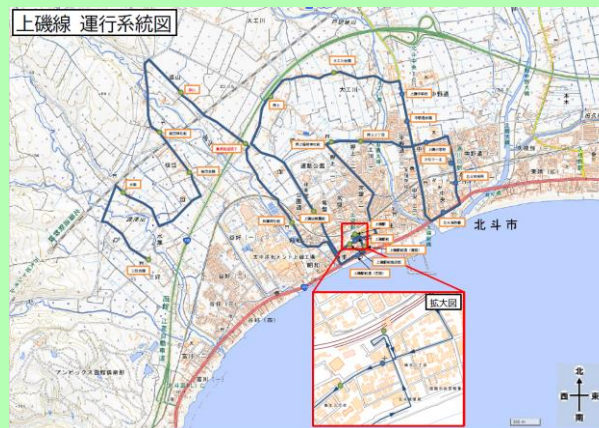
- ・令和4年度事業における利用状況を踏まえ、高齢者の多い住宅地内で乗り降りしやすくなるよう路線の一部を見直し。
具体的には、「添山地区」にバス停を新設、「谷好地区」「本町地区」「向野地区」において路線を見直した。
- ・巡回ワゴンのほか、北斗市内を運行する道南いさりび鉄道、函館バス及びJR北海道の各路線を一望できるガイドマップを作成し、市内全戸に配布(令和5年10月)。
ガイドマップには、時刻表も掲載し、巡回ワゴンからの乗り継ぎ利用促進を図った。
- ・北斗市老人クラブ連合会の協力を得て、巡回ワゴン沿線の老人クラブにアンケート調査を実施(令和5年10月集計)。
21クラブ・521名に配布し、341名から回収。

2) 運行系統

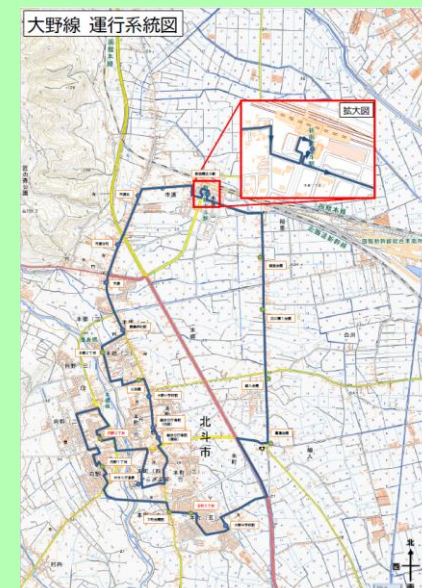
①茂辺地・石別・上磯線



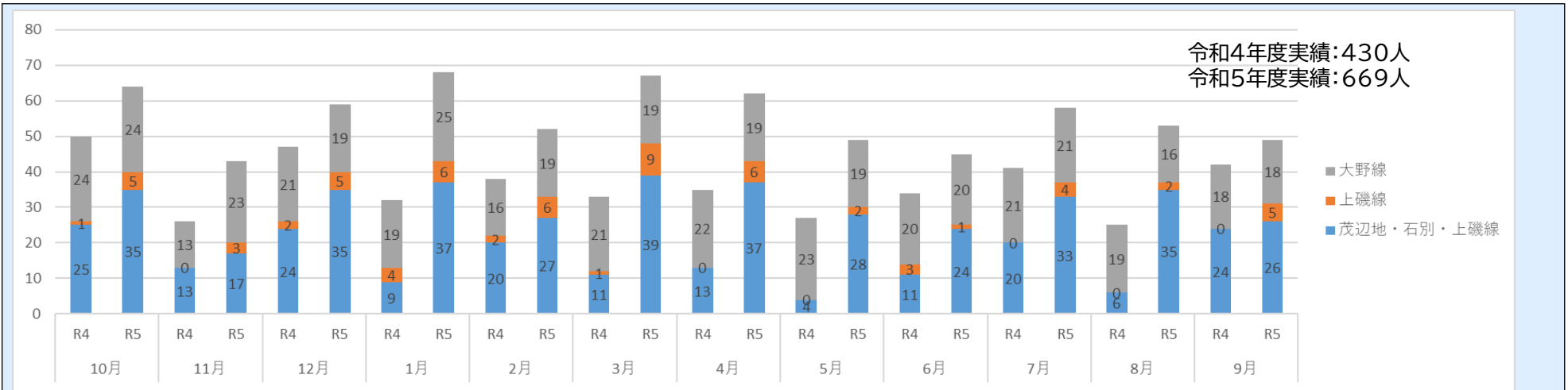
②上磯線



③大野線



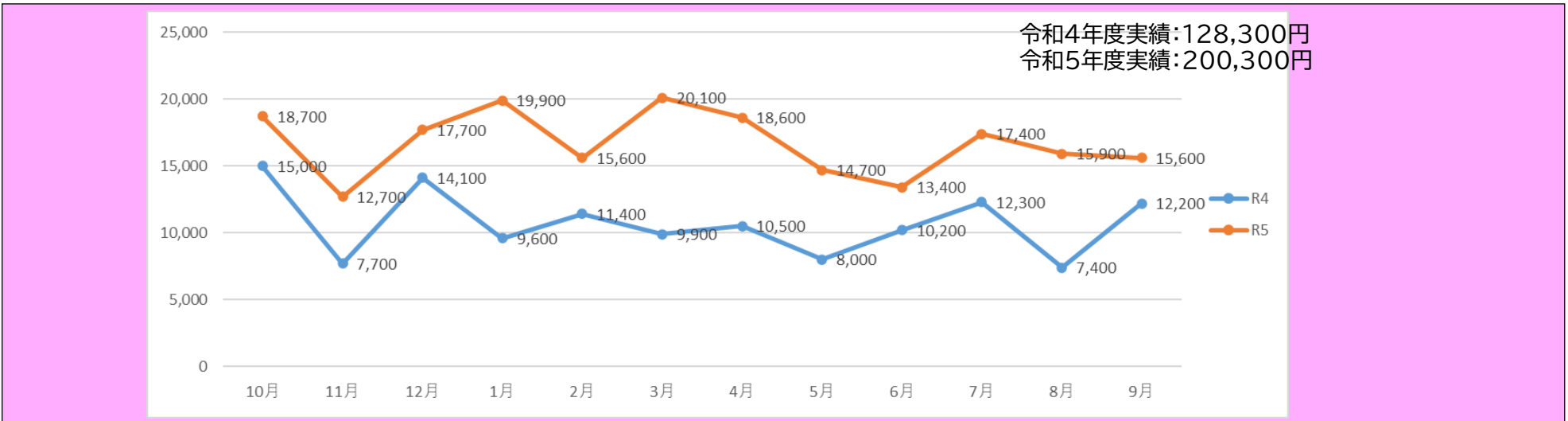
3) 利用実績



	10月		11月		12月		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		計	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
茂辺地・石別・上磯線	25	35	13	17	24	35	9	37	20	27	11	39	13	37	4	28	11	24	20	33	6	35	24	26	180	373
上磯線	1	5	0	3	2	5	4	6	2	6	1	9	0	6	0	2	3	1	0	4	0	2	0	5	13	54
大野線	24	24	13	23	21	19	19	25	16	19	21	19	22	19	23	19	20	20	21	21	19	16	18	18	237	242
計	50	64	26	43	47	59	32	68	38	52	33	67	35	62	27	49	34	45	41	58	25	53	42	49	430	669

単位：人

4) 収入実績



5) 事業実施の適切性

A 計画どおり事業は適切に実施された。

6) 目標・効果達成状況

C 各路線沿線地域高齢者の利用が低調であり、収支率は目標20%に対し8.99%(前年比+2.72pt)であった。

また、輸送量について、茂辺地・石別・上磯線は3.8人(前年比+2人)と2人を上回ったが、上磯線0.5人(前年比+0.3人)及び大野線1.2人(前年比±0人)は2人を下回った。

7) 事業の今後の改善点

○高齢者へのアンケート調査結果を踏まえ、より乗降しやすい路線とするため、路線の一部において区域運行エリアの設定及びフリー乗降区間の設定を行う。また、わかりやすい路線とするため、路線の分割を行う等の見直しを行う。

8) 地方運輸局等における二次評価結果(案)

運輸局記載欄